



上田市議会議員  
**佐藤のりゆき**  
佐藤 論 征

後援会報  
6月定例会報告

2020年6月定例会号  
佐藤のりゆき後援会  
発行責任者 森山 和  
上田市真田町長 3576-1  
TEL 0268-72-5666  
FAX 0268-72-2622



2期目の任期も前半の2年間を終え、後半2年に入りました。新型コロナウイルス感染症、令和元年東日本台風による被災などにより、上田市を取り巻く環境が今任期前半で大きく変化いたしました。このような状況のなか、佐藤のりゆきが現在どのようなことに力を入れ取り組んでいるか、一部ではありますがご紹介させていただきます。

**経 済** 地域における経済状況は、景気回復を実感できる状況にはなく、これまで実感を伴う地域での効果的な景気対策を推進してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により状況が一変し、これまでの自律的な景気対策が後退する結果となっております。新型コロナウイルス感染症の影響をいち早く脱却できるような効果的な独自支援を推進し、これまで推進してきた景気対策を一日もはやく元の水準へ戻すよう取り組んでまいります。

地域における経済対策は、少子高齢化、社会福祉、社会保障、介護など様々な問題を解決するうえでも重要であります。全ての世代が安心して暮らせるため、働く世代の安定的な生活基盤を構築いたします。

**防 災** 令和元年東日本台風により、上田市は全域で甚大な被害に見舞われました。災害復旧を早急に進めるとともに、より災害に強い上田市を構築するための基盤整備に取り組みます。

令和元年東日本台風においても、消防団は大変大きな役割を果たし、住民の大きな助けとなりました。これまで以上に消防団の活動しやすい体制を構築してまいります。また、地域の自主防災組織は、災害が大規模化、多様化するなかにおいて今後大変重要な役割を果たす組織であり、自主防災組織の活動について体制を強化してまいります。

**教育・子育て** 子育て世代が住みたくなくなる地域づくりを推進します。子育て世代が住みたくなくなる行政サービスを推進することにより、若い世代、子どもの多いまちづくりに繋がります。

また、子育てをするのにおいて、教育環境は非常に重要であります。現在、国が進める児童生徒1人1台の端末整備についても早期に進め、新型コロナウイルス感染症の第二波への対応をはじめ、これを契機に教育環境、教育水準の充実を推進します。児童生徒1人1台の端末導入については、国は当初1/2を国が負担するとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全国で導入が前倒しになったところから、市町村への交付要件を変更し、市町村の負担が大きくなっております。義務教育については、全国一律、どの地域に住んでいても、全ての子どもが同じ水準の教育を受けられるよう国において責任をもって予算措置すべきであります。今回の予算も含め、国に対して教育予算については、国において着実に予算措置するよう強く要望してまいります。



上田市が導入を予定する Chromebook キーボードが反転したタブレットでも使用できる

**資源循環型施設建設とごみ減量化** 資源循環型施設建設については、上田地域広域連合の所管業務であります。上田クリーンセンターは耐用年数を既に迎えており、延命するための費用として年間に5億円程度投じられており、今後更に延命に要する費用は増大してまいります。前期2年において広域連合議員として活動し、広域連合長(土屋上田市長)に対しても、現在の候補地で早期に建設するよう訴えてまいりました。現在の候補地(上田市)で資源循環施設を建設した場合に環境にどのような影響をあたえるか調査するための、環境影響評価の費用が3年前から広域連合において予算化されておりますが、3年間予算執行されないまま本年度も予算化されている状態にあり、2月の広域連合議会一般質問において、私は環境影響評価が3年間も予算執行されないことについて問題提起いたしました。これをうけ、令和2年度予算について、環境影響評価の予算を確実に執行するよう議会より附帯意見が付されました。資源循環型施設建設に向け更に活動を強めてまいります。

資源循環型施設建設については、建設候補地の皆さんだけの問題ではなく、全上田市民の課題であるという認識を全ての市民が持つべきであります。まずは一人一人がごみ減量化に取り組み、資源循環型施設はよりコンパクトな施設とするべきであります。ごみ減量化については、引き続き取り組んでまいります。現在、ごみを大幅に減量できるトンネルコンポスト方式について、研究を進めるとともに、提言しております。



老朽化が著しい上田クリーンセンター 昭和61年4月稼働開始

**公共交通** 公共交通については、上田市では平成25年から6年間、「運賃低減バス実証運行」を実施し、これまで輸送人員が減少の一途であった状況から増員に転じたことから現在も運行が継続されております。しかしながら、国の支援を受けてはいるものの、市の予算も大変大きな予算が投じられております。また、当然のことながらバスについては路線が定められているため全ての地域をカバーしきれるものではありません。多額の予算を投じて公共交通の対策をするのであれば、タクシーなども利用し、玄関先まで迎えにいけるような対策も検討するべきであります。運賃低減バスの路線の抜本的な見直しや、タクシーを利用した交通弱者への対策など、上田市の公共交通をいまいちど抜本的な改革と構築をしていく時期を迎えていると考えます。これまでも、全国な様々な取り組みなどを研究してきた経験を活かし、更に提言してまいります。



佐藤のりゆきホームページ

<http://www.noriyuki-sato.com>

上田市議会議員 佐藤のりゆき 検索

スマートフォンからもご覧いただけます

**上信自動車道・144号線整備促進** 上信自動車道(群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保インターチェンジ付近から鳥居峠付近を経由し、長野県側の上信越自動車道へ至る延長約80km(長野県側約15km)の地域高規格道路)の早期整備促進を目的として、上田市議会において全議員が会員となり令和2年6月上田市議会上信自動車道建設促進議員連盟が設立され、佐藤のりゆきが会長として選出されました。佐藤のりゆきは以前よりこの路線について、嬭恋村議会と連携して要望活動などを実施しており、議員連盟の設立も以前より要望しておりました。今回この議員連盟の設立により更に要望活動を実施してまいります。上信自動車道は、国道144号線とは分離してこれまで構想されておりましたが、今後は、国道144号線と合わせて整備を考えていくべきであります。

上田市議会上信自動車道建設促進議員連盟 会長に就任

**観光振興** これまで、真田三代の郷、世界の菅平、インバウンドの推進などを主軸に観光振興を推進してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光業がこれまでに経験のしたことの無いほどの影響を受けるなか、新型コロナウイルス感染症収束の後の早期の回復に向けた取り組みと、新しい生活様式にも対応した観光振興を推進してまいります。新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の観光需要が著しく低迷し、これまで順調に推移していた外国人観光客については受け入れができない状況に陥っていますが、収束に至った際には観光を上田市のリーディング産業として更に成長させ、地域経済の大きな柱にしていかなければならないと考えます。

## 上田市議会6月定例会

令和2年6月上田市議会定例会が、6月8日から会期18日間で開会

**上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例**  
手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用を促進するため、必要な事項を定める条例を制定。

**強い農業・担い手づくり総合支援交付金** 補正予算 2,280万円  
令和元年東日本台風災害により被災した農業用施設等の復旧経費に対する補助金。令和元年度中に被害把握できなかった部分についての予算計上。

**福祉センター棟施設整備事業** 補正予算 8,108万8千円  
ふれあい福祉センターの屋根防水工事及び空調機器改修工事に係る経費。

**GIGAスクール構想推進事業** 補正予算 7億2,860万円  
児童生徒に、1人1台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画、いわゆる「GIGAスクール構想」の実現に向けた小中学校内通信ネットワークの整備費等の計上。タブレットについては今後検討。

## 上田市議会7月臨時会

7月9日臨時会が会期1日で開会

今年度に入り4度目の臨時会  
いずれも新型コロナウイルス感染症関連

**学生納付金減免事業補助金** 補正予算 5,824万円  
公立大学法人長野大学で独自に実施する学生納付金減免事業に対する補助。対象 長野大学 学生数1,456人 一人6万円 総事業費8,736万円のうち上田市が2/3を補助。

**ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業** 補正予算 2億4,466万3千円  
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、低所得のひとり親世帯の生活を支援するため、臨時特別給付金を給付する。全額財源は国が負担。  
1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円。家計急変世帯に対しては1世帯5万円追加給付。

**出産・育児支援特別給付金給付事業** 当初予算 5,536万2千円  
子育て世代の経済的負担軽減を図るため乳児を養育する保護者に対し、特別給付金を給付する。令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、出生により市内に住民登録をした子どもに一人あたり5万円を支給。全国民に10万円支給された、特別定額給付金の対象とならなかった子どもが対象。

**旅館・ホテル業事業者に係る温泉使用料支援事業** 補正予算 3,101万3千円  
令和2年1月から6月までのいずれかの月で、売り上げが前年同月比50%以上となっている市内宿泊事業者のうち、温泉使用料(分湯料)を負担している事業者に対し6カ月分の温泉使用料相当額を給付。

**公共交通緊急支援事業補助金** 補正予算 5,600万円  
新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少や感染症防止対策のための負担が増加した公共交通事業者に対し補助金を交付。路線バス、貸切バス、タクシー、運転代行業者が対象。

**学校臨時休業対策事業** 補正予算 1,810万円  
令和2年4月9日から5月末までの市内小中学校臨時休業措置に対する学校給食関連事業者への支援を行う。  
牛乳事業者への支援810万円 主食の委託加工業者への支援1,000万円

**中小企業等金融対策事業** 補正予算 8億9,100万円  
新型コロナウイルス感染症の影響による、制度融資の利用増加に伴い、経営安定資金融資可能額を拡大する。  
金融機関預託金5億円 信用保証料3億2,600万円 利子補給補助金6,500万円

**消費喚起応援事業** 補正予算 4億1,000万円  
新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが大きく減少した市内飲食店・小売業等の支援と、新しい生活様式への対応として推奨されているキャッシュレス決済の普及促進を目的として、モバイル決済サービス事業者及び市内3商工団体と連携したポイントバックキャンペーン事業を実施する。モバイル決済を利用した支払いに対し30%のポイントバック(1回の決済につき上限2,000円、利用期間中10,000円まで)

**索道事業者支援事業** 補正予算 5,200万円  
冬のシーズンに向け観光需要が落ち込むことが予想される市内索道事業者(リフト事業者)への支援。リフト券1日券1,000円、2日券2,000円の割引に対する支援。

## 上信自動車道計画路線図

